

教 科	工 業	科 目	デザイン実践
履修条件 対象生徒	全員履修 デザイン科 1 学年		
学習目標	・デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解する。 ・デザインにより解決できる課題を発見し、科学的な根拠に基づき構想を立て解決しようとする力を養う。 ・色彩に対する知識を身に付ける。		
学習方法	〔授業〕 ・プリントや教科書、ICTを活用し行う。 ・デザインについての理論や社会での役割など幅広く学習する。 ・色彩検定のテキストを用い、色彩について理論を学び、制作に応用できる力を身に付ける。 〔家庭学習〕 ・授業後、授業で使用した教材をteamsにアップするので復習に努める。 〔補習・その他〕 ・定期考査の状況に応じて、個別補習を行う。		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > 1 工業におけるデザイン (1) 工業とデザイン (2) デザインの領域 < 2 学期末考査まで > 2 デザインと創造活動 (1) 色彩 ア 光と色 イ 色の表示 ウ 色彩心理 < 学年末考査まで > エ 色彩調和 オ 配色イメージ カ ファッション キ インテリア ク 慣用色名 ○工業におけるデザインについて実際のデザイン事例を踏まえて理解するとともに、関連する用語を学習する。 ○デザインにおける様々な領域を学習し、デザインの思考やものの見方について理解する。 ○デザインで必要な色彩について学習する。 ○光の基本的な性質や目の仕組みについて理解する。 ○色を分類したり、数字で表したりするときの基本となる考え方を学習する。 ○色のはたらきについて学習する。 ○配色のルールを理解し、配色効果を考える。 ○配色イメージについて考える。 ○ファッションと色彩について理解する。 ○インテリアにおけるカラーコーディネーションを学ぶ。 ○慣用色名とその由来について学習する。		
評価基準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	工業におけるデザインについて社会や生活との関係を踏まえて、事例と関連づけながら理解し、関連する技術を身に付けている。	デザインにより解決できる課題を発見し、科学的な根拠に基づき構想を立て解決しようとする力を身に付けている。	工業におけるデザインについて社会や生活との関係を踏まえて自ら学び、デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	・定期考査・学習態度・出席の状況を総合的に判断して評価する。 ・授業では、発表や話し合いなどの言語活動、レポート、演習への取組など主体的な活動を重視する。		